

亀山市基金活用指針

平成25年2月

目 次

1. 基金を取り巻く現状	2
2. 基金活用指針策定の目的	2
3. 基金活用の方向性	2
総 括	2
個別事項	
(1) 財政調整基金	2
(2) 減債基金	3
(3) 国民健康保険給付費等支払準備基金	3
(4) リニア中央新幹線亀山駅整備基金	3
(5) 下水道事業基金	3
(6) 農業集落排水事業債償還基金	4
(7) 地域福祉基金	4
(8) 公共施設等基金	4
(9) ふるさと・水と土保全基金	4
(10) ボランティア基金	5
(11) 基幹林道維持管理基金	5
(12) 伝統的建造物群保存基金	5
(13) 庁舎建設基金	5
(14) 市民まちづくり基金	6
(15) 関宿にぎわいづくり基金	6
(16) 土地開発基金	6
(17) 国民健康保険高額療養費貸付基金	6
参考資料1)	
基金の名称、設置年度、設置目的、平成23年度末残高	7
参考資料2)	
基金の推移	9

基金活用指針

1. 基金を取り巻く現状

本市の保有する特定目的基金は、合併以前の旧市町が設置し、新市に引き継いだものが多く、また、17基金のうち11基金が設置から15年以上経過したものです。その結果、中には社会情勢や行政に対する市民ニーズの変化により、所期の設置目的や基金の必要性が希薄となり、活用の方角性が不明瞭となっているものもあります。

一方で、昨今の金利低下による利子収入の減少や今後見込まれる厳しい財政状況下において、基金の積み増しについては慎重にならざるを得ません。

今後、社会保障関係経費や既存施設の長寿命化に係る経費の増大が見込まれる中、一般財源の不足が懸念されています。市民への負担を増加させることなく、行政サービスの水準を維持し、不足する財源を生み出すために、基金の有効活用を図る方策を検討する必要があります。

2. 基金活用指針策定の目的

本指針は、亀山市行財政改革大綱後期実施計画 Ⅲ. 財政改革の推進 ②歳入改革の推進に基づき、本市の基金を取り巻く現状を鑑み、保有する基金の積立、運用など、基金の必要性及びあり方を整理し、基金の有効活用に向けた方向性を示すものとします。

3. 基金活用の方向性

現下の厳しい財政状況の中、多様化する市民ニーズに対応し、行政サービスの水準を維持するために、基金の現状と課題を踏まえた基金活用の方向性を以下のとおりとします。なお、後期基本計画の第2次実施計画（平成27年度～平成28年度）策定時など、財政状況を勘案し、適宜見直しを行うものとします。

総 括

保有する基金については、財政状況を勘案し、設置目的を推進するよう有効に活用するとともに、基金繰り入れまでの間は、資金運用の原資として活用します。また、ふるさと納税制度の対象となる基金については、受け皿として存続します。なお、所期の設置目的やその必要性が希薄となった基金については廃止を検討します。

個別事項

(1) 財政調整基金

【現状と課題】

決算剰余金積立などによる計画的な積み立てにより、平成23年度末に基金残高は45億3,900万円でピークとなりましたが、今後は市税の減収等により、基金からの繰り入れが増加し、残高の減少が見込まれます。

【活用の方向性】

経済事情の影響による財源不足が生じたときなど、年度間の財源の不均衡を調整するために活用を行うとともに、計画的な積み立てを行い、年度末残高20億円以上の維持を目標とします。

(2) 減債基金

【現状と課題】

公債費負担比率が15%を超える額を取り崩し、公債費の償還に充当することとしており、平成27年度には基金が枯渇する見込みです。

【活用の方向性】

当該年度の公債費負担比率の15%を超える部分に相当する額を取り崩し、公債費に充当することとします。また、公債費負担の軽減を図るため、財政状況を勘案しながら積み立てを行います。

(3) 国民健康保険給付費等支払準備基金

【現状と課題】

決算状況により取り崩しを行ってきましたが、年度間の変動によっては、基金としての目的を十分に達成できる額が確保されていません。

【活用の方向性】

変動のある国民健康保険事業特別会計の歳出超過の補てんに充当する財源として活用するほか、財政状況を勘案しながら積み立てを行います。

(4) リニア中央新幹線亀山駅整備基金

【現状と課題】

合併前の旧亀山市において、平成8年度に基金を設置して以後、20億円に向け計画的な積み立てを行ってきました。しかし、厳しい財政状況が続いており、安定した積み立てを継続することに財政面での課題があります。

【活用の方向性】

毎年度の財政状況を十分勘案し、継続的に積み立てを行います。また、基金運用収益については、積み立て財源として活用します。

(5) 下水道事業基金

【現状と課題】

設置以後、基金収益金を積み立てて運用しているほか、平成23年度には、区域外接続協力を積み立てました。厳しい財政状況が続いており、基準外繰入の財源として活用していく必要がありますが、不足分の繰り入れを続ければ、数年で基金が枯渇する見込みです。

【活用の方向性】

公共下水道事業特別会計の継続的な運営を図るため、基準外繰入額の1/2を基金から繰り入れを行い、事業実施の財源として活用します。

(6) 農業集落排水事業債償還基金

【現状と課題】

県の補助金の交付条件が農業集落排水事業債の元金償還に充当することとしていることから、補助金を元金償還が始まるまで基金に積み立てています。平成23年度から一部基金を取り崩し元金償還の財源に充当しています。

【活用の方向性】

県補助の目的のとおり、農業集落排水事業債元金の償還財源として活用します。

(7) 地域福祉基金

【現状と課題】

社会福祉資金及びふるさと納税による寄附金を積み立てし、亀山市社会福祉法人に対する助成条例による市の補助金の財源に充当しています。今後、新たに社会福祉法人への補助が発生した場合は、基金が枯渇する見込みです。

【活用の方向性】

社会福祉に資する寄附金の受け皿として存続するとともに、保健福祉の増進のための資金に充てる財源として活用します。

(8) 公共施設等基金

【現状と課題】

開発行為に伴う寄附金を基金に積み立てし、公共施設の建設費に充当してきましたが、平成23年度に開発行為に係る寄附条項を廃止したため、今後、基金の積み立てはありません。

【活用の方向性】

必要と認める公共施設及び公益的施設の建設費等の財源として活用し、基金残高が無くなれば廃止を検討します。

(活用例：川崎小学校改築事業 など)

(9) ふるさと・水と土保全基金

【現状と課題】

農村地域における土地改良施設の機能を良好に発揮させるための地域住民活動に対する支援事業に要する資金に充てるため、旧亀山市、旧関町で1,000万円ずつ積立てたものであり、収益金を中山間地域にかかるソフト事業に充当しています。しかし、収益金は少額なことや地域住民の活動も増えていることから、基金の活用の方向性を検討する必要があります。

【活用の方向性】

中山間地域の景観保全に関するPR活動や交流活動など、中山間地域を活性化する活動を支援するための財源として活用します。

(活用例：中山間地域活性化事業 など)

(10) ボランティア基金

【現状と課題】

過去5年間における基金の活用は、亀山市市民参画協働事業推進補助金のスタートアップ補助金のみにて特化しており、少額でした。今後は、基金活用の方向性を検討する必要があります。

【活用の方向性】

市内におけるボランティア活動を更に育成・支援するために、亀山市市民参画協働事業推進補助金のスタートアップ事業だけでなく、ステップアップ事業の財源としても活用します。

(11) 基幹林道維持管理基金

【現状と課題】

寄附金を原資として林道の維持管理を行うために基金を設置し、平成23年度に林業施設維持管理事業実施の財源として全額取崩しを行いました。

【活用の方向性】

今後、基幹林道の維持管理は、一般財源で対応することとして、基金の廃止を検討します。

(12) 伝統的建造物群保存基金

【現状と課題】

本基金の収益金を事業実施の財源として充当しており、基金への積み立ては行っていません。今後は、基金残高が少額であることから、活用の方向性を検討する必要があります。

【活用の方向性】

国重要伝統的建造物群の保存及び活用等に対する意識の高揚につながる事業等の財源として活用を検討します。

(活用例：関宿重伝建選定30周年記念事業 など)

(13) 庁舎建設基金

【現状と課題】

市庁舎の整備に伴う財源確保のため、15億円を目標に計画的な積み立てを実施しています。しかし、厳しい財政状況が続いており、積み立てを継続することに財政面での課題があります。

【活用の方向性】

庁舎建設の財政フレームの再検討を行うとともに、毎年度の財政状況を十分勘案し、可能な範囲内での積み立てを行います。また、基金運用収益については、積み立て財源として活用します。

(14) 市民まちづくり基金

【現状と課題】

市民参画・協働及び地域づくりに寄与する活動の支援のために、基金の収益金を財源として事業を展開しています。本基金は、合併特例債を活用して積み立てたものであり、取り崩しが可能とされる償還済元金相当額の活用の方向性について検討する必要があります。

【活用の方向性】

基金の収益金を、市民活動応援事業や地域コミュニティのしくみづくり支援事業に活用します。今後、事業を展開していく中で、収益金を上回る事業展開となれば、償還済元金相当額を取り崩して事業を推進していきます。

(15) 関宿にぎわいづくり基金

【現状と課題】

関宿にぎわいづくり基本方針に沿った事業を行う団体に対し、基金の収益金を財源として、関宿にぎわいづくり補助金を交付しています。本基金は、合併特例債を活用して積み立てたものであり、取り崩しが可能とされる償還済元金相当額の活用の方向性について検討する必要があります。

【活用の方向性】

基金の収益金は、関宿にぎわいづくり基本方針に沿った事業を行う団体を支援するための財源として活用します。また、償還済元金相当額については、関宿で開催される既存事業や新たな事業への活用を検討します。

(16) 土地開発基金

【現状と課題】

土地開発公社への貸付や公共用地取得のための財源として活用しています。貸付運用のため、一定額の基金残高（約5億円）は確保する必要があります。

【活用の方向性】

道路網などのインフラ整備に不可欠な公共用地の先行取得のために、土地開発公社への貸付運用を行うとともに、行政財産の取得のための財源として活用します。

(活用例：川崎小学校用地、関南部地区コミュニティーセンター用地 など)

(17) 国民健康保険高額療養費貸付基金

【現状と課題】

平成24年度以降は外来診療に係る高額療養費も自己負担限度額までの取扱いとなったことから、今後、貸付制度の利用はなくなり、廃止を含めた検討が必要です。

【活用の方向性】

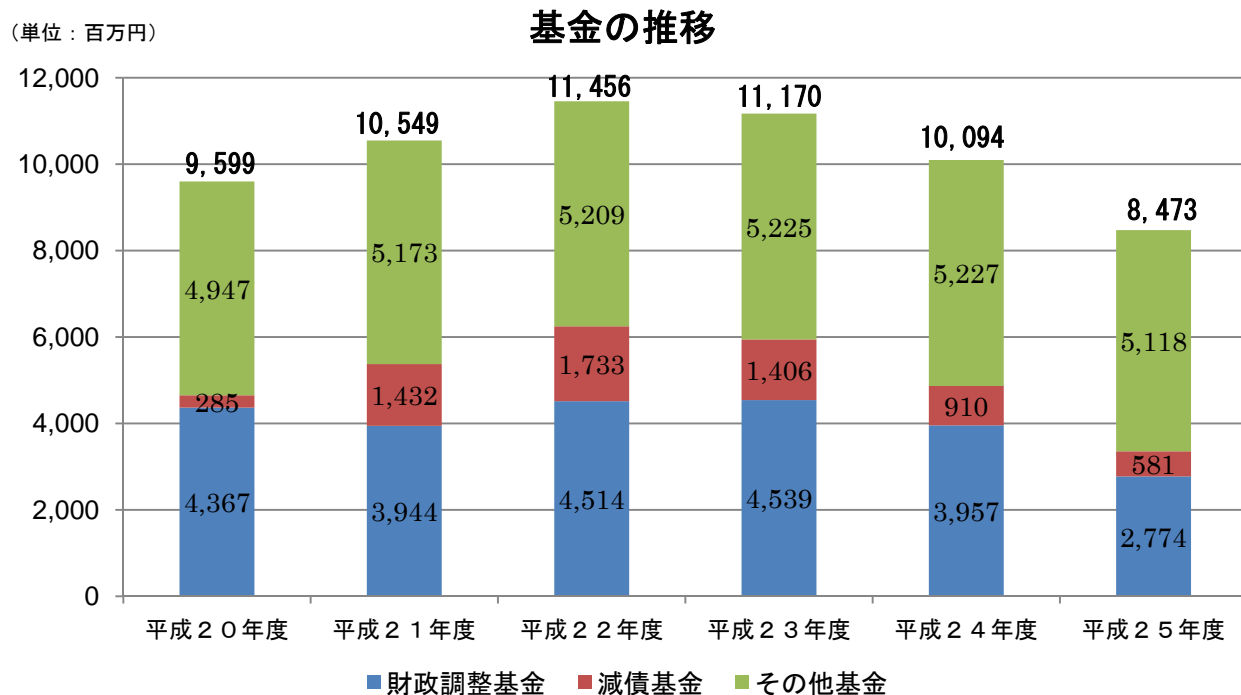
外来分の直接支払い制度が平成24年4月から開始されたことに伴い、貸付制度の利用がなくなることから基金の廃止を検討します。

参考資料 1) 基金の名称、設置年度、設置目的、平成 23 年度末残高

基金の名称	設置年度	設置目的	平成 23 年度末残高 (千円)
財政調整基金	H16	年度間における財政調整のための資金に充てるため	4,539,425
減債基金	H16	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営のための資金に充てるため	1,406,139
国民健康保険給付費等支払準備基金	H16	国民健康保険事業における財政の健全な運営のための資金に充てるため	20,410
リニア中央新幹線亀山駅整備基金	H16	リニア中央新幹線の市内における停車駅を整備する資金に充てるため	1,350,864
下水道事業基金	H16	下水道事業における財政の健全な運営のための資金に充てるため	399,114
農業集落排水事業債償還基金	H16	農業集落排水事業の市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営のための資金に充てるため	185,092
地域福祉基金	H16	保健福祉の増進のための資金に充てるため	25,678
公共施設等基金	H16	開発行為において、市が必要と認める公共施設及び公益的施設の建設費等の資金に充てるため	37,807
ふるさと・水と土保全基金	H16	農村地域における土地改良施設の機能を良好に発揮させるための地域住民活動に対する支援事業に要する資金に充てるため	20,086
ボランティア基金	H16	ボランティア活動を育成し、及び援助するための資金に充てるため	9,389
基幹林道維持管理基金	H16	基幹林道(森林の管理経営において根幹となる林道をいう。)の維持管理に要する資金に充てるため	0

基金の名称	設置年度	設置目的	平成23年度末 残高(千円)
伝統的建造物群保存基金	H16	伝統的建造物群保存地区(文化財保護法(昭和25年法律第214号)第142条に規定する伝統的建造物群保存地区をいう。)における伝統的建造物の保存及び活用並びに歴史的景観の保全及び形成に資する事業の資金に充てるため	16,571
庁舎建設基金	H19	庁舎の建設のための資金に充てるため	800,000
市民まちづくり基金	H20	市民参画・協働及び地域づくりに寄与する活動の支援に要する資金に充てるため	1,000,000
閑宿にぎわいづくり基金	H20	閑宿及びその周辺地域のにぎわいづくりに寄与する活動の支援に要する資金に充てるため	370,170
土地開発基金	H16	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため	988,000
国民健康保険高額療養費貸付基金	H16	国民健康保険法(昭和33年法律第192号)の規定による高額療養費の支給に係る療養に要する費用を支払うための資金を貸し付けることにより、国民健康保険の被保険者の福祉の向上を図るため	2,000
合 計		設置基金数 17基金	11,170,745

参考資料2) 基金の推移



※平成24年度は3月補正後、平成25年度は当初予算編成後の見込み額を示します。

その他基金の内訳

単位：千円

基金名称	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
国民健康保険給付費等支払準備基金	1,410	410	20,410	20,410	410	410
リニア中央新幹線亀山駅整備基金	1,150,364	1,250,364	1,300,364	1,350,864	1,400,864	1,450,864
下水道事業基金	357,265	358,804	358,804	399,114	329,237	264,963
農業集落排水事業債償還基金	175,033	177,701	187,645	185,092	177,661	179,104
地域福祉基金	88,414	108,663	25,223	25,678	26,493	26,443
公共施設等基金	23,992	27,213	34,449	37,807	37,844	37,853
ふるさと・水と土保全基金	20,076	20,076	20,076	20,086	19,986	18,486
ボランティア基金	9,634	9,584	9,484	9,389	9,239	9,139
基幹林道維持管理基金	3,842	3,842	3,842	0	0	0
伝統的建造物群保存基金	16,571	16,571	16,571	16,571	16,571	13,383
庁舎建設基金	600,000	700,000	750,000	800,000	850,000	851,778
市民まちづくり基金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
関宿にぎわいづくり基金	370,000	370,000	370,050	370,170	370,200	370,100
土地開発基金	1,110,000	1,110,000	1,110,000	988,000	988,000	895,310
国民健康保険高額療養費貸付基金	20,000	20,000	2,000	2,000	0	0
合計	4,946,601	5,173,228	5,208,918	5,225,181	5,226,505	5,117,833

※平成24年度は3月補正後、平成25年度は当初予算編成後の見込み額を示します。

